

決算補足説明資料

2026年3月期 第3四半期

地盤ネットホールディングス株式会社
証券コード：6072

2026年2月12日

目次

01 決算ハイライト	P.3
02 セグメント情報	P.5
03 財務状況	P.9
04 中期経営計画 進捗状況	P.11
Appendix 会社案内	P.14

01 決算ハイライト

ハウスランティ社の子会社化に伴い前期比で売上高は大きく伸びておりますが、グループ全体での営業・技術リソースの統合運用等のシナジー最大化に向けた人材・システムなどの各種投資を進めており、着実に進展しております。

売上高

2,350百万円

前年同期：1,362百万円
(+72.5%)

売上総利益

987百万円

前年同期：605百万円 (+63.1%)

EBITDA※

80百万円

前年同期：23百万円 (+344.2%)

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

営業利益

10百万円

前年同期：8百万円 (+27.2%)

経常利益

16百万円

前年同期：6百万円 (+143.3%)

Q3純利益

178百万円

前年同期：△2百万円 (-)

02 セグメント情報

連結業績

売上高

2,350 百万円
前年同期：1,362百万円
(+72.5%)

営業利益

10 百万円
前年同期：8百万円
(+27.2%)

第3四半期累計期間事業概要

グループ全体での一本化によるシナジーの具現化と運営体制の効率化が着実に進展するとともに、地盤事業の収益基盤の形成も進み前年同期比でプラス

地盤事業

2,156 百万円
前年同期：1,131百万円
(+90.6%)

256 百万円
前年同期：166百万円
(+53.9%)

ハウスランティ社統合による取引量アップ。SCANnaviサービスの受注がスタートすると共に、構造計算や申請代行サービスなども順調に推移し収益基盤が拡大。引き続きエネルギーインフラ領域の受注も継続。

BIM Solution 事業

194 百万円
前年同期：231百万円
(△16.1%)

△10 百万円
前年同期：△18百万円
(-)

利益率の高いBIMモデリング・点群データ関連業務は堅調ながら、戸建住宅向けのCGベース案件が減少し、事業全体の売上減・営業損失に繋がった。

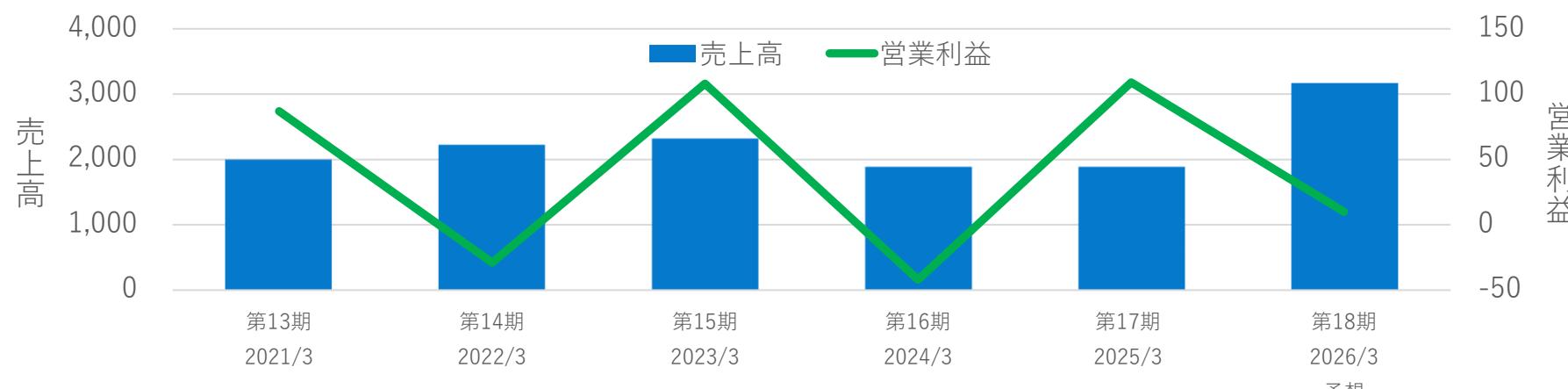
直近5年間の連結業績推移と2026年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

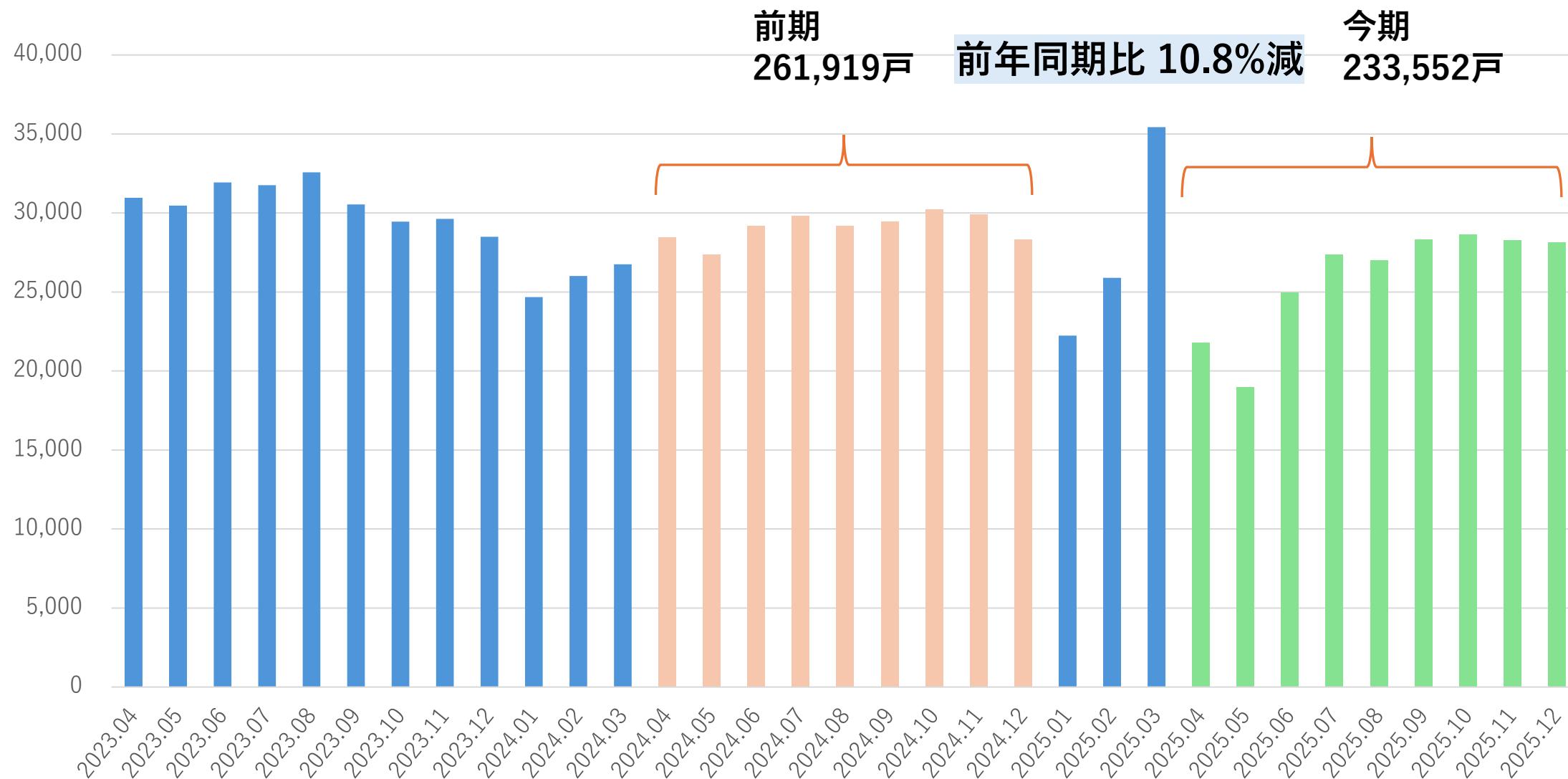
	第13期 2021/3	第14期 2022/3	第15期 2023/3	第16期 2024/3	第17期 2025/3	第18期 2026/3予想※
売上高	1,989	2,216	2,308	1,877	1,877	3,150
営業利益又は 営業損失 (△) (上段：のれん償却前)	87	△29	108	△48	109	115 30
経常利益又は 経常損失 (△)	91	△28	101	△58	110	28
当期純利益又は 当期純損失 (△)	△33	△46	73	△95	74	175

※2025年5月14日に公表しました連結業績予想から修正しております。

詳細は、本日（2026年2月12日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正及び特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。



(参考資料) 新設住宅着工戸数 推移



出典：国土交通省「建築着工統計調査報告」

※当社グループの事業領域である持家、分譲住宅（一戸建て）を合算して、新設住宅着工戸数としております。

03 財務狀況

2026年3月期 第3四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		前年同期比	
	期末	構成比	Q3	構成比	増減	増減率
流動資産	1,388	93.5%	1,268	65.5%	△119	△8.6%
有形固定資産	18	1.2%	33	1.7%	15	+86.6%
無形固定資産	38	2.6%	576	29.8%	537	—
投資その他の資産	39	2.7%	57	3.0%	18	+46.7%
資産合計	1,484	100.0%	1,936	100.0%	451	+30.4%
流動負債	289	19.5%	483	25.0%	194	+67.2%
固定負債	2	0.1%	34	1.8%	32	—
負債合計	291	19.6%	518	26.8%	227	+78.0%
株主資本	1,178	79.4%	1,403	72.5%	224	+19.0%
その他の包括利益累計額	14	1.0%	14	0.8%	—	+3.5%
純資産合計	1,193	80.4%	1,417	73.2%	224	+18.8%
負債・純資産合計	1,484	100.0%	1,936	100.0%	451	+30.4%

流動資産：売掛金+169百万円、電子記録債権+26百万円、前払費用+21百万円、現金及び預金△325百万円

固定資産：のれん+516百万円、ソフトウェア+27百万円、長期前払費用+12百万円

流動負債：支払手形及び買掛金+34百万円、短期借入金+62百万円、未払消費税+41百万円、未払費用+19百万円、前受金+30百万円

固定負債：損害補償引当金+28百万円

純資産：親会社株主に帰属する当期純利益+178百万円、自己株式の取得△13百万円、自己株式の処分+55百万円

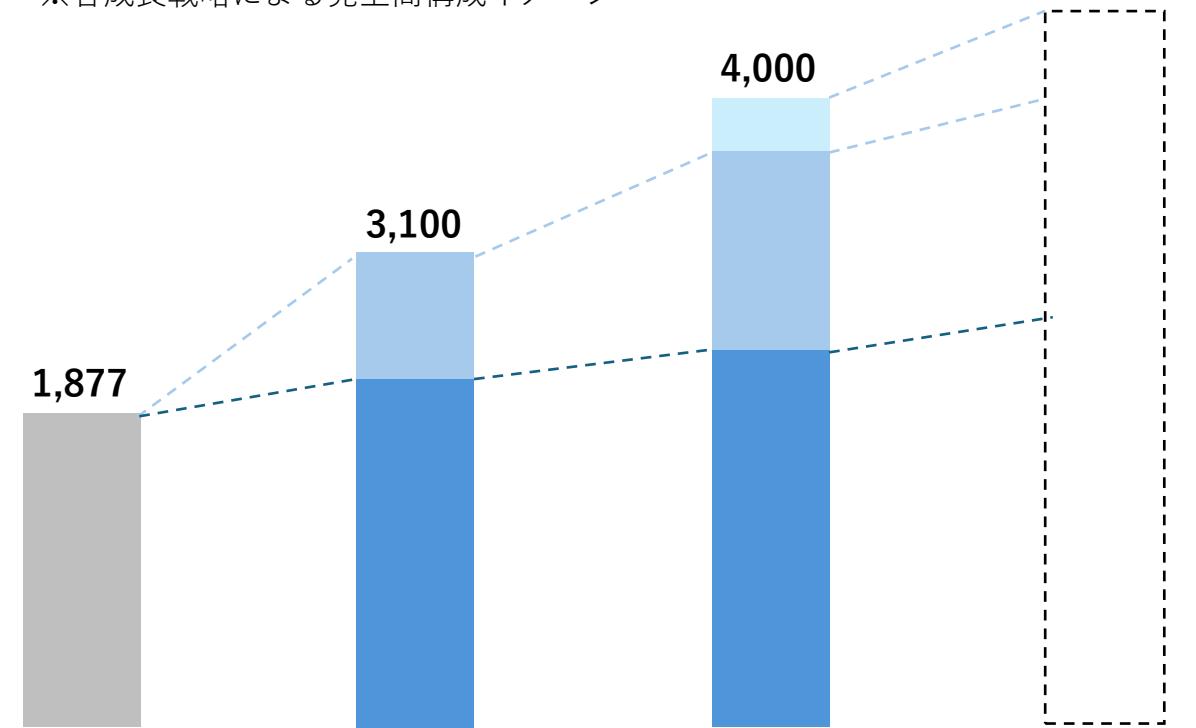
04 中期経営計画進捗状況

収益最大化を実現する成長戦略を各フェーズで実行
大きく変化する市場機会の獲得を目指し企業価値の向上に注力

成長戦略

新規事業創出と 他業界への進出	事業提携・資本提携・M&A等
事業内容 の発展	点群データの活用拡大 建築業全体（戸建以外）へ進出
既存事業の 競争力確保	価格競争力を高め利益率向上 取引先拡大による売上アップ

※各成長戦略による売上高構成イメージ



2025年3月期

2026年3月期

2027年3月期

2028年3月期

主な取組と進捗状況

重点領域	取組概要	進捗	現状成果
ハウスランティ統合	営業・技術体制の統合	 完了	顧客基盤が約1.3倍に拡大
新サービス開発 (SCANnavi™)	3D測量サービス構築 下期営業スタート	 進行中	サービスの安定供給に向け調査部隊を拡大
BIM Solution事業	点群・モデリング業務 の高付加価値化	 改善中	CGパース受注減も、利益率の高い点群活用・BIM案件は伸長傾向。
他業界への進出	蓄電所向け地盤関連 サービス	 進行中	業務提携も進み受注件数が想定以上で進捗 来期計上案件も徐々に積み上がり
先行投資	人材・システム等	 進行中	基幹システム統合完了 人材強化は継続

会社案内

“生活者の不利益解消”という正義を貫き、 安心で豊かな暮らしの創造をめざします。

専門的な知識を
持たない生活者

専門的な知識・経験を持つ
供給者から一方的に情報を
提供されている立場にある



公正な
立場

高度な
知見

住みよい豊かな
社会づくりに貢献



JIBANNET

私たちはこの情報格差を埋める
役割を担う住生活エージェント

生活者に寄り添った
サービスの開発・提供

住生活に関するリテラシー向上
生活者がより良い選択ができる
デファクトスタンダードを構築



会社名 地盤ネットホールディングス株式会社

設立 2008年6月25日

代表者 代表取締役社長 荒川 高広

資本金 4 億9,116万円 (2025年3月31日現在)

本社 東京都新宿区新宿5丁目2番3号

決算期 3月

事業内容 地盤事業、BIM Solution事業、その他事業

連結子会社 地盤ネット株式会社
JIBANNET ASIA CO., LTD.

従業員数 146名 (連結: 2025年3月31日現在)

役員体制

代表取締役社長	荒川 高広
取締役	高瀬 秀人
取締役	渡辺 可奈子
社外取締役	木全 美加
社外監査役・常勤	小澤 宏之
社外監査役	松木 大輔
社外監査役	伊藤 耕一郎

創業期

- 2008年 6月 会社設立
地盤セカンドオピニオン®開始
- 2012年12月 旧東証マザーズ上場
- 2013年 7月 JIBANNET ASIA CO., LTD.設立

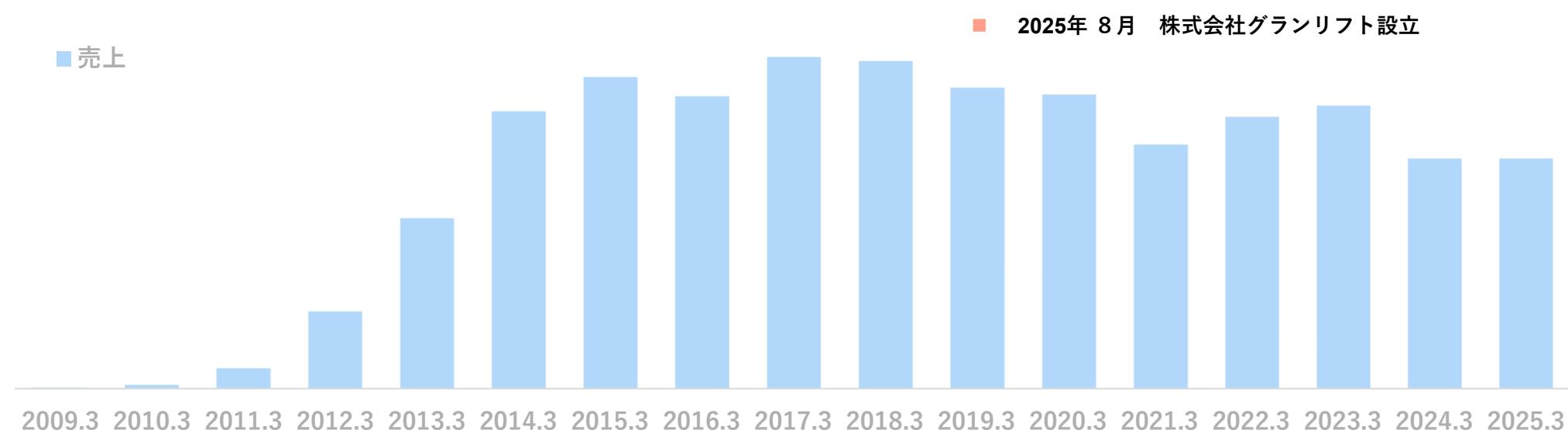
事業の確立

- 2014年 5月 地盤安心マップ®リリース
- 2015年 1月 地盤カルテ®・地盤安心マップ®PRO
リリース
- 2015年 7月 スマート地盤システム®運用開始
- 2016年11月 JIBANNET ASIA CO., LTD.
ダナン支店開設
- 2017年10月 微動探査「地震eye®」の提供開始

事業の拡大

- 2018年 7月 ベトナムダナンBCPOセンター
BIMによる設計～確認申請業務受託開始
- 2019年 9月 ベトナムダナンBCPOセンター
住宅事業者向けアウトソーシング支援開始
- 2022年 7月 BIMモデリング作業の請負を開始
- 2023年 4月 改良工事業者会
地盤工事適正化ネットワーク 設立
- 2025年 4月 株式会社ハウスランティを子会社化
- 2025年 8月 株式会社グランリフト設立

(単位：百万円)



当資料取り扱い上のご注意

【免責事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が2026年2月12日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

